

# CAPTAIN MAX

大型で強力な台風が  
接近しています。



心配だわ！  
どうしよう。



そうだマックスに  
相談しよう！

ガルバリウム+  
ハイフッ素の  
マックス瓦なら  
安心だ！！



お問い合わせ・ご用命は…



マックス建材 株式会社

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町635  
TEL.045-633-1351 FAX.045-543-9977  
<http://www.maxkenzai.co.jp>

ご使用に際して

マックス瓦本来の性能を発揮するためには、屋根工事専門業者による各仕様、施工基準に基づく施工が必要です。寒冷・積雪・強風などでは、特殊な工事を必要とする場合があります。

※商品は改良のため予告なく変更することがあります。

※写真的色調は、印刷のため実物とは異なる場合があります。

# マックス瓦

ガルバリウム+・ハイフッ素

25年  
材料保証

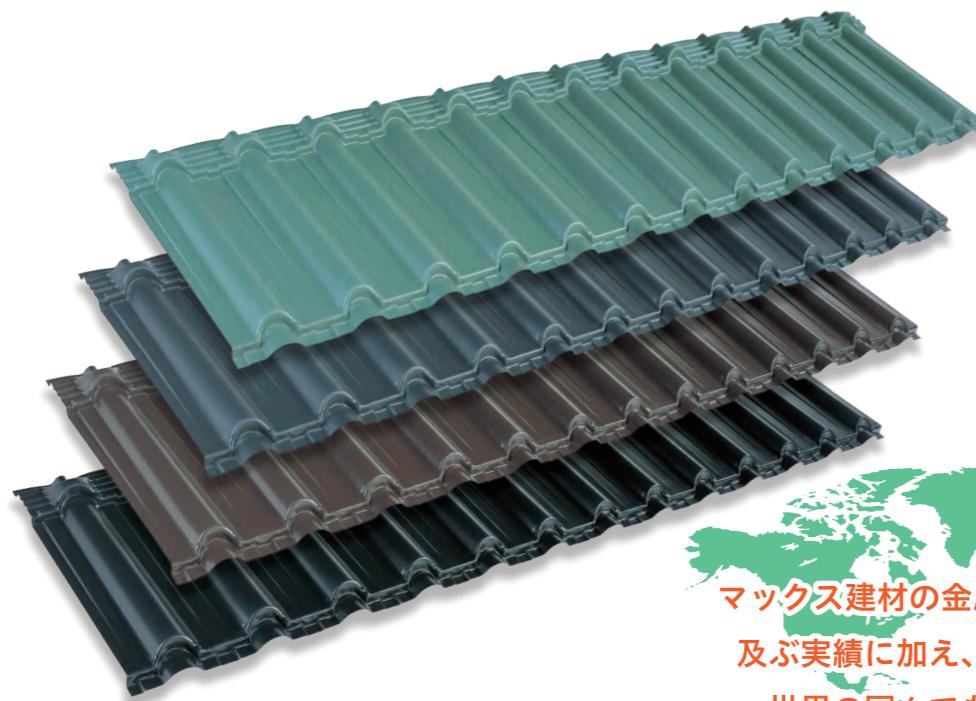


マックス建材

超高耐久素材  
ハイフッ素鋼板  
製品厚さ  
mm 0.62  
保証対応  
変色・褪色  
20年  
保証対応  
塗膜  
20年  
保証対応  
赤錆  
20年  
保証対応  
穴あき  
25年

# 耐久性抜群 軽くて地震・台風に強い 通気工法で省エネ

## 和風・洋風にも映える美しい4色のラインナップ



グリーン (つや消し)

グレー (つや消し)

ブラウン (つや有り)

ブラック (つや有り)



キャプテン・マックスです！

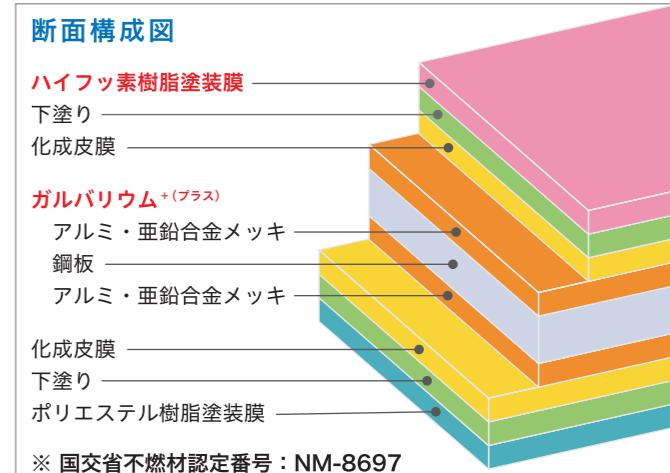
マックス瓦は、ハイグレードメッキを施したガルバリウム<sup>+</sup>鋼板に、塗装用ポリマーの理想形といわれるフッ素樹脂を二重に塗装。最高級の技術が生み出した比類なき性能。

安心・安全な屋根は、マックスにお任せください！



### ガルバリウム<sup>+</sup>

マックス瓦は、その基材にガルバリウム<sup>+(プラス)</sup>を使用。ガルバリウム<sup>+(プラス)</sup>は、ガルバリウム鋼板の曲げ加工性を高めた仕様で、加工部においてもクラックの発生を抑え高い耐食性を発揮します。アルミ 55%と亜鉛 43%による合金メッキ鋼板で、耐食性・耐久性・耐熱性に優れています。耐食性は、他社製品に見られる、亜鉛メッキ鋼板の数倍あり、750°Cで10分間の燃焼試験に合格、国土交通大臣認定の不燃材として登録されています。マックス瓦の板厚は、業界ナンバーワンの 0.62mm。変形しにくく高い耐久性を誇ります。



### ハイフッ素樹脂塗装

フッ素樹脂塗装は、科学的・物理的・機械的、さらには、熱や光にも極めて安定しているため、耐候性・耐薬品性・耐食性・耐汚染性など、あらゆる面で他の塗料に比べて優れています。マックス瓦は、フッ素含有量を 80%以上に高めることで、あらゆる特性の強化を図っています。※ 他社製品はフッ素含有量 50%未満。70%以上のフッ素含有率を、ハイフッ素と呼びます。

### 構造体への負担が軽く地震に強い

マックス瓦の住まいへかかる重量は、1坪あたり約 25 kg。日本瓦(約150kg)の1/6、彩色平面スレート板(約60kg)の1/2以下の軽さで、大切な住まいへの負担を大幅に軽減します。屋根を軽くすることで、地震に対しても強い効果を発揮します。また、軽量だから施工も容易でスピーディー。短期施工なので、工期中の住み替えも必要ありません。



### 台風に負けない優れた耐久性と水密性

台風時における高い耐久性と水密性が「建材試験センター」の実験で実証されています。  
・耐風圧試験：-940kgf/m<sup>2</sup> (実風速 120m/秒) ・水密性試験：風速 45m/秒 (実風速 90m/秒)  
なお、日本の観測史上最も強い風は、1966年9月5日に沖縄県宮古島で記録された最大瞬間風速 85.3m/秒となっています。

屋根材比較表	日本瓦	平板スレート	カラー鋼板	マックス瓦
強度（耐久性）	△ 割れやすい	✗ 割れやすい	○ つぶれやすい	○ 割れずつぶれず
重量	✗ 非常に重い	△ 比較的軽い	○ 非常に軽い	○ 非常に軽い
耐震性	✗ ズレ落ちやすい	△ ひび割れの恐れあり	○ 割れない	○ 割れない
耐候性（色）	○ 長く持つ	✗ 塗膜劣化で塗替	✗ 塗膜劣化で塗替	○ 長く持つ
耐風性	○ 飛びやすい	△ 割れやすい	△ 釘の保持力のみ	○ ビス固定が多い
通気性	△ 通気しにくい	✗ 通気性なし	✗ 通気性なし	○ 縦桟で自然通気
断熱性	○ 热を持ちにくい	△ 換気棟が不可欠	✗ 热を持ちやすい	○ 換気で熱を外に
耐用年数	○ 50年以上	△ 20年程度	△ 20年程度	○ 30年以上
メンテナンス	△ 漆喰の塗替が必要	✗ まめな塗装が必要	✗ まめな塗装が必要	○ メンテナンス不要